



第37回 広響ホットコンサート

このまち思い シンフォニー

2023年9月3日(日)

15:00開演(14:00開場)

広島文化学園HBGホール

(広島市中区加古町3-3)

全席指定 ◎ご入場には招待券が必要です。
(未就学児のご入場はご遠慮ください)

◎ご入場に際してお手伝いが必要なお客様は、スタッフにお申し付けください。

ワーグナー：楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」
第1幕への前奏曲

ショパン：ピアノ協奏曲第1番 ホ短調 Op.11

リスト：ハンガリー狂詩曲第2番

レスピーギ：リュートのための古風な舞曲とアリア第3組曲より
「シチリアーナ」

シベリウス：交響詩「フィンランディア」Op.26



指揮●山下 一史
©ai ueda



ピアノ●吉見 友貴



管弦楽●広島交響楽団

あなたに届けたい、希望の旋律。

YouTube「広響チャンネル」にてライブ配信

◎ライブ配信のご視聴方法やイベントの中止、
変更がある場合は、広島ガスのホームページで
お知らせします。

<https://www.hiroshima-gas.co.jp/event/hirokyo2023>

※やむを得ない事情により、出演者・曲目などを変更する場合がございます。



主催



このまち思いエネルギー
広島ガスグループ

広響ホットコンサートのテーマは、『このまち思いシンフォニー』。第37回の今年、お届けするのは、このまちの皆さまとともに音楽で明るい未来を紡いでいく希望のひとつです。指揮は、世界の巨匠カラヤンが育てた最後の愛弟子、山下一史（広島市出身）。ソリストは、幼少期を広島で過ごし、高校2年在学中に日本音楽コンクールで最年少優勝を果たしたピアニスト・吉見友貴。2000年生まれの若き精鋭です。広島ゆかりの音楽家が一堂に会し、このまちの未来を思いながら、癒しと希望のメロディをお届けします。広島交響楽団の演奏とともに、音楽で心を満たす極上の時間をご堪能ください。

	● Program
ワーグナー：	楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」 第1幕への前奏曲
ショパン：	ピアノ協奏曲第1番 ホ短調 Op.11
リスト：	ハンガリー狂詩曲第2番
レスピーギ：	リュートのための古風な舞曲と アリア第3組曲より「シチリアーナ」
シベリウス：	交響詩「フィンランディア」Op.26

指揮

山下一史
やました かずふみ

1977年桐朋学園高校音楽科に入学。チェロを井上頼豊氏に、指揮を尾高忠明、小澤征爾、秋山和慶、(故)森正の各氏に師事。1982年「第17回民音指揮コンクール」で奨励賞を受賞。1984年桐朋学園大学を卒業後、ベルリン芸術大学に留学、1986年デンマークで開かれたニコライ・マルコ国際指揮者コンクールで優勝。1985年12月からカラヤンの亡くなるまでアシスタントを務め、1986年、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の演奏会で、急病のカラヤンの代役として、急遽ジーンズ姿のまま「第9」を指揮、話題となる。その成功以来、ザルツブルク・フィングステン音楽祭でカラヤンのスタンバイ指揮者として契約。以後着実にヨーロッパでの実績を重ね、1993年から1998年までヘルシンボリ交響楽団の首席客演指揮者を務めた。

日本国内では1988年「若い芽のコンサート」でNHK交響楽団を指揮してデビュー。オーケストラ・アンサンブル金沢プリンシパル・ゲスト・コンダクター（1991年～1993年）、九州交響楽団常任指揮者（1996年～1999年）を歴任。また、大阪音大ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団常任指揮者（2002年～2008年）を務め、2005年秋には、新国立劇場より松村禎三「沈黙」公演に招待され、東京の音楽界にも衝撃を与えた。2008年4月より同団名誉指揮者就任。2006年4月からは仙台フィルハーモニー管弦楽団より指揮者として迎えられ、R.シュトラウス「英雄の生涯」、シューマン「交響曲第2番・交響曲第4番」などのCD制作も行うなど積極的な活動を展開。2009年4月から2012年3月まで同団の正指揮者を務める。2011年2月にはシューマン作曲歌劇「ゲノフェーア」日本舞台初演や、2013年1月、2016年3月には水野修孝 歌劇「天守物語」、2016年7月に仙台での「コジ・ファン・トゥッテ」公演など、現在、オペラ、オーケストラの両面において着実な成果を積み上げている指揮者として、ますます注目を浴びている。

2016年4月より千葉交響楽団（旧ニューフィル千葉）音楽監督に就任。「おらがまちのオーケストラ」をスローガンに、定期公演のみならず、音楽教室にも積極的に出演、千葉県民一人一人に愛されるオーケストラをめざし、オーケストラの一層の発展に努めている。また、東京藝術大学音楽学部指揮科教授として後進の育成にも心血を注ぐ。2022年4月より愛知室内オーケストラ音楽監督、大阪交響楽団常任指揮者に就任。

ピアノ

吉見 友貴
よしみ ゆうき

2000年生まれ。幼少期を広島で過ごす。高校2年在学中、第86回日本音楽コンクールで最年少優勝を果たす。2021年エリザベート王妃国際音楽コンクールセミファイナリスト。2022年ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールクォーターファイナリスト。「4th Manhattan International Music Competition」にて銀賞を受賞。

2015年アリオン桐朋音楽賞受賞。浜離宮朝日ホールやトッパンホールでリサイタルを開催する他、2019年には「CHANEL Pygmalion Days Artist」に選出され、CHANEL NEXUS HALLにて全6回のリサイタルを行った。そして2020年12月には、日本フィルハーモニー交響楽団定期演奏会にてミシェル・ダルト氏の代役を務め、好評を博した。これまでに東京交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、セントラル愛知交響楽団、ワロニー王立室内管弦楽団等と共演。NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」、TBSラジオ「High school a GOGO!!」、Tokyo FM「ホンダスマイルミッション」等ラジオ出演も多数。室内楽にも積極的に取り組み、「CHANEL Pygmalion Days室内楽シリーズ」や、「Music Dialogue」に出演。そして、ニューヨーク・フィルハーモニックやフィルハーモニア管弦楽団など国内外主要オーケストラのメンバーで構成された、ヴェリタス弦楽四重奏団と共演している。現在、ニューイングランド音楽院に奨学生として在学中。アレクサンダー・コルサンティア、上野久子、伊藤恵の各氏に師事。2019年度、2020年度ローム・ミュージック・ファンデーション奨学生。2020年度江崎スカラシップ奨学生。第51回江副記念リクルート財団奨学生。

管弦楽

広島交響楽団

Symphony Orchestra

国際平和文化都市「広島」を拠点に“Music for Peace～音楽で平和を～”を旗印として活動するプロオーケストラ。2017年より下野竜也が音楽総監督を務め、その意欲的な音楽づくりが注目を集めている。クリスティアン・アルミンクが首席客演指揮者、秋山和慶が終身名誉指揮者を務めるほか、ウィーン・フィル、コンサートマスターのフォルクハルト・シュトイデをミュージック・パートナーに、細川俊夫をコンポーザー・イン・レジデンスに迎えている。また、ピアニスト、マルタ・アルゲリッチには2015年の「平和の夕べ」コンサートでの共演をきっかけに広響「平和音楽大使」の称号を贈り、相互に平和を希求する音楽活動を続けている。1963年「広島市民交響楽団」として設立、1970年に「広島交響楽団」へ改称。学校での音楽鑑賞教室や社会貢献活動にも積極的に取り組み、地域に根差した楽団として「広響」の愛称で親しまれる。1991年の「国連平和コンサート」（オーストリア）での初の海外公演以降、チェコ、フランス、ロシア、韓国、そして2019年にはポーランド・ワルシャワでの「ショパンと彼のヨーロッパ国際音楽祭」に招かれ、ヒロシマのメッセージを音楽で海外へも発信。現在は年10回の定期演奏会、呉・福山・廿日市・島根・東広島での地域定期やディスカバー・シリーズ、「音楽の花束」名曲シリーズをはじめ、県内における移動音楽教室、巡回コンサートから各種依頼公演など年間約140回を超える演奏活動を行っている。

2011年4月より公益社団法人としての認定を受け、学生インターン・シップの受け入れや、「P3HIROSHIMA」として地元プロ団体、広島東洋カープ、サンフレッチェ広島とのコラボレーションによる幅広い地域社会貢献活動を行い「音楽の芽プロジェクト」として発信している。

これまでに「広島市政功労賞」「広島文化賞」「広島ホームテレビ文化賞」「地域文化功労者賞（文部大臣表彰）」「第54回中国文化賞」「第17回県民文化奨励賞」「第5回国際交流奨励賞」「文化対話賞（ユネスコ）」「広島市民賞（2013年度）」「ENEOS音楽賞（奨励賞）」を受賞。

公式Web <http://hirokyo.or.jp>

お問い合わせ ● 広島ガス株式会社 環境・社会貢献部 TEL082-252-3154 [受付時間/9:00～17:00 (土日祝除く)]

○発熱等の体調不良時には、ご来場をお控えいただきますよう、お願いいたします。会場内でのマスク着用は個人の判断となりますが、プラボー等の声援をされる際は、マスク着用をお願いいたします。やむを得ない事情により、出演者や曲目などの変更、またはコンサートを中止させていただく場合がございます。

イベントの詳細や最新情報は広島ガスのホームページをご覧ください。

広島ガス

検索

<https://www.hiroshima-gas.co.jp/event/hirokyo2023>

